

令和3年度 基本評価調書①		所管部局	環境生活部	所管課	アイヌ政策課	
施策名	アイヌ文化の振興			施策コード	03131	
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)A	
知事公約	C0058 C0072 C0073 C0074 C0076	総合戦略	A4611、A4612	国土強靱化	-	事務事業数 7
SDGs				総合判定	判定不可	

【1 Plan】

施策目標	【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】 ・アイヌ文化の保存・伝承を促進し、アイヌ文化の振興を図るとともに、アイヌの人たちの伝統や文化に関する理解の促進に取り組む。 ・国により「ウポポイ(民族共生象徴空間)」が開設されたことや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機にしながら、アイヌ文化の発信を強化する。					
現状と課題	・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の保存・伝承が急がれる状況にあることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図るとともに、道民への理解の促進を図る施策を推進する必要がある。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウポポイの具体的な魅力の発信による来訪意欲の喚起、開業効果の全道への波及・拡大</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック開会式などでのアイヌ文化の発信についての国などへの要請</li> <li>・「イランカラブテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組</li> </ul>					
予算額(千円)	R 3	508,708	R 2	746,475	R 1	766,916
施策のイメージ						

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度	目標値		-	-	88	98	-	-
	実績値		-	-	-	-	-	-
設定理由	アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進」に係る取組の成果を測る指標として設定。※指標値について、内閣府の調査結果を引用していたが、今年度より道民意識が反映される道実施の「北海道の人口減少などに関する意識調査」を使用する。							
分析(主な取組と成果)								
今年度から実績データの出典を変更したが、R3年度の調査結果が出ていないため判定不可(結果は11月頃判明見込み)。								

指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「アイヌの人たちが独自の伝統や文化を培い、伝えていること」の認知度	目標値		-	-	86	98	-	-
	実績値		-	-	-	-	-	-
設定理由	アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進」に係る取組の成果を測る指標として設定。※指標値について、道民意識が反映される道実施の「北海道の人口減少などに関する意識調査」を使用する。							
分析(主な取組と成果)								
今年度から新たな指標を追加したが、R3年度の調査結果が出ていないため判定不可(結果は11月頃判明見込み)。								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	03131
---------------	-----	----------	-------	-------

## 【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度	-	-	-	88	-
	「アイヌの人たちが独自の伝統や文化を培い、伝えていること」の認知度	-	-	-	86	-
目標 (指標)の 達成状況	今年度から実績データの出典を変更し、今年度の調査結果については11月頃判明する予定のため直近の実績値はないが、アイヌ文化の振興に向けては、伝統的な文化の保存・伝承やアイヌ文化の魅力発信などの取組を実施。				指標総合判定	-
連携 状況	アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会を実現するため、庁内に「アイヌ施策推進連絡会議」を設置し、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に係る理解の促進に関することやアイヌの人たちの生活向上に関することを協議し国費要望に反映させていく。				連携判定	○
緊急性 優先性	アイヌの人たちが先住民族であるという認識を示したアイヌ政策推進法の趣旨を鑑み、未来志向によるアイヌ政策を総合的に推進				緊急性 優先性 判定	○
総合判定 の根拠	アイヌ文化の振興に向けて、伝統的な文化の保存・伝承やアイヌ文化の魅力発信などの取組を実施するとともに、「アイヌ施策推進連絡会議」において、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に係る理解の促進、アイヌの人たちの生活向上等に関することを協議し、国費要望に反映させていく。				総合判定 (一次評価)	判定不可

翌年度に 向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	「北海道アイヌ政策推進方策」に掲げる、アイヌの人たちのライフ・サイクルに沿った施策の柱である「理解の促進」、「生活の向上」、「文化の振興」、「地域、産業及び観光の振興」、「多様な文化との交流推進」を総合的に推進する。
②		
③		

## 〈二次政策評価〉

前年度 二次評価 意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること。	対応状況 (R3.3時点)	感染症の推移を見極めながら、ウポポイへの誘客や開設効果の地域への波及、アイヌ文化の魅力の一層の発信に向け、多様な媒体を活用した広報や工芸品の販路拡大、博物館やアニメを通じた情報発信を行う。
R3年度 二次政策 評価			

## 【3 Action】

二次政策 評価への 対応			
R4 施策の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な媒体や機会を活用して、ウポポイや道内各地域のアイヌ文化の魅力や、縄文遺跡や食など地域資源と連携し発信するとともに、国内外からの来訪を促進する。</li> <li>アイヌの伝統工芸技術の保存・伝承に向けて、担い手育成や工芸品等の販路拡大等に取り組む。</li> <li>東京2020オリンピックで披露されたアイヌ文化発信パフォーマンスをレガシーとして継承していくため、北海道アイヌ協会の取組を支援するとともに、国内外でのイベント等を通じて広く発信する。</li> <li>国と連携し、アイヌ関係団体によるアイヌ文化の調査研究や保存・伝承、海外の先住民族等との交流事業等を支援する。</li> </ul>		